

平成30年 秋季号

農業委員会だより

仙台市

編集と発行 仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)
 FAX 022(215)5803

発行日 平成30年10月1日

ホームページ <https://www.city.sendai.jp/shinko/jigyosha/kezai/norin/nogyo/sendaishi/index.html>

農地利用最適化推進委員の辞令交付式



農業委員の辞令交付式

農業委員会法の改正に伴い、農業委員は選挙制から議会の同意を得た市長からの任命制に変更となり、また、主に担当区域において、現場活動を行う農地利用最適化推進委員が新たに設置されました。

7月17日(火)に辞令交付式では、郡和子仙台市長から、新農業委員19人に対し辞令が交付され、引き続き第一回総会で、会長・会長職務代理者の互選及び農地利用最適化推進委員等を決定しました。また、7月23日(月)には、農地利用最適化推進委員34人に対し農業委員会会長から委嘱を行い、仙台市農業委員会は新体制でスタートしました。

今後農業委員会は、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農地法等に基づく許認可や、農地等の利用の最適化(担

農業委員会が新体制で発足しました

農業委員会法の改正に伴い、農業委員は選挙制から議会の同

意を得た市長からの任命制に変更となり、また、主に担当区域において、現場活動を行う農地利用最適化推進委員が新たに設置されました。

農地に関するご相談・ご意見は、担当区域の農地利用最適化推進委員や農業委員までお寄せください。

新役員紹介

会長	佐々木 均
会長職務代理者	中野 勲
第一調査委員会 委員長	結城 一吉
第二調査委員会 副委員長	赤間 敬
委員長	嶺岸 若夫
副委員長	菅野 則義

※調査委員会は、農地法等の権限に属せられた事項を、総会に諮る前に事前調査を行なうため、第一・第二に分かれ月一回交互に開催しています。

会長就任あいさつ



会長 佐々木 均

このたび、新制度に基づく仙台市農業委員会第一回総会の互選会において、会長に選任されました。その責務の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいです。これから決意を新たにし、力を合わせ、かけがえのない農地と担い手を守り、農家経営の安定を図るため、新体制が円滑に機能するよう全力を尽くしてまいります。どうぞご協力よろしくお願ひいたします。

新しい農業委員を紹介します

次の方々が新たに農業委員に就任しました。任期は、平成30年7月15日から平成33年7月14日までとなります。

加藤 和彦 〈中立委員〉



今回、初めて農業委員になりました。よろしくお願いします。

品川 忠夫 〈根白石地区〉



都市化が進むなか、農地の健全、有害鳥獣対策等に頑張ります。

結城 一吉 〈第一調査委員会委員長・宮城地区〉



これまでの経験を活かし、地域の最適な農地利用を目指して活動していきます。

中野 勲 〈会長職務代理者・秋保地区〉



農家の代表として、また地域のために一生懸命働かせていただきます。

菅野 則義 〈第一調査委員会副委員長・長町地区〉



地域農業の在り方、特に都市近郊農業とはどうあるべきかを行政に提言します。

鈴木 通 〈中田地区〉



これからも、鳥獣対策や河川敷内農地の問題に取り組みたいと思います。

赤間 敬 〈第一調査委員会副委員長・岩切地区〉



最適化推進委員と共にきめ細かな地域活動に務め、豊かな農環境を提供します。

佐古 雅春 〈中立委員〉



農業・農村の多面的価値を踏まえた豊かな地域づくりを目指して取り組みます。

大泉 権吾 〈七郷地区〉



新農業委員会のスタートに当たり、地域密着型の推進委員の活躍に期待します。

佐藤 千治 〈高砂地区〉



地域農業の発展と後継者の育成、環境保全に努めていきます。

加藤 和江 〈六郷地区〉



新任委員です。先輩委員の皆様に早く近づく事が出来るよう努力いたします。

佐藤 昭幸 〈中田地区〉



優良農地の確保と有効利用を推し進め、農地の番人として働きたいと思います。

松原 菊男 〈七北田地区〉



高齢化対策で市民支援を頂き、市民農園等を展開する事に務めます。

高橋 勝彦 〈六郷地区〉



若い手の育成及び、地域の農業振興のお手伝いをしたいと思います。

鈴木 正年 〈原町地区〉



農業者と行政側のパイプ役に徹したいと 思います。

嶺岸 若夫 〈第二調査委員会委員長・生出地区〉



教育活動を通じて、仙台市の農業発展に貢献していきます。

農地利用最適化推進委員紹介

次の方々が農地利用最適化推進委員に就任しました。任期は、平成33年7月14日までとなります。

農地利用等の推進を検討するため、農地利用最適化推進委員34人で構成する「農地利用最適化推進委員連絡会」を設置しました。

○会長 阿部 康幸
○副会長 小野寺 潔

齊藤 重行 〈原町区域〉

地域の方々の、農地利用の最適化にお役に立ちますように頑張ります。

庄司 善春 〈岩切区域〉

これから岩切地区にマッチした色々な要望に対応したいと思っています。

横田 清孝 〈岩切区域〉

岩切地区の遊休農地や耕作放棄地の解消に務めてまいりたいと思います。

安達 良和 〈高砂区域〉

地区農業委員の補佐役として地域の景観、美化を損なわないよう努めています。

本間 昭一 〈大沢区域〉

与えられた役割をしつかり果たすよう、頑張ります。

小野寺 潔 〈広瀬区域〉

積極的な活動によって最適化推進委員制度について広報活動をしていきます。

鈴木 可和 〈高砂区域〉

農地パトロール等、農業委員さんのサポートを頑張ります。

阿部 康幸 〈七郷区域〉

地域の代表として農家と行政のパイプ役として努めます。

伊藤 憲一 〈七郷区域〉

地域農業の発展に少しでもお役にたちたいと考えております。

熊坂 茂彦 〈七郷区域〉

農地の適性利用と集約化に伴う合理性を、農家の皆様と共に取り組んでまいります。

高山 真里子 〈七郷区域〉

次世代に農業を継承して行けるよう、新しい視点から助勢で新規農地利用の効率化・健全化に努めます。

大友 哲 〈六郷区域〉

ほ場整備後の農地の集積・集約化を推進し、農地利用の効率化・健全化に努めます。

菊地 守 〈六郷区域〉

農地利用の最適化を推進していくように、がんばってまいります。

佐藤 善作 〈六郷区域〉

六郷区域及び若林区内の農地集積（組田解消）に向けて推進を図りたいです。

高橋 勝好 〈六郷区域〉

色々教えていただきながら頑張りますので、よろしくお願ひします。

菅井 孝彦 〈長町区域〉

これからの農業に意欲を持っている人たちの、少しでもお手伝いができれば幸いです。

阿部 忠弘 〈中田区域〉

今までの経験を活かし、地域農業の発展に微力ながら貢献してまいります。

阿部 忠弘 〈中田区域〉

農地の利用状況を把握し、皆様に信頼されるよう、積極的に活動していきます。

太田 功治〈中田区域〉

担い手の方々と積極的に意見を交わし、集積・集約を進めたと思います。

佐藤 多喜雄〈生出区域〉

最適化推進委員として、農業委員と地域農業を守つていま

太田 勝〈秋保区域〉

地域の農地を守り活かす事が最適化推進委員の果す役割で責任の重さを痛感しています。

柴田 祐一〈秋保区域〉

これからは最適化推進委員として地域に役立てるよう頑張つていきます。

安藤 克夫〈七北田区域〉

泉の農家経営発展のため、きめ細かに巡回し、円滑な農地の集積をめざします。

栗原 茂〈七北田区域〉

七北田地区の少なくなった農地が適正に利用されているかを見守っています。

若生 宏明〈七北田区域〉

制度が変わった初年度なので業務内容を充分理解し職務に当たりたいと思います。

奥山 壽〈根白石区域〉

私は今回最適化推進委員になりました。今後は農地を守るためがんばります。

熊谷 幸夫〈根白石区域〉

鳥獣被害が多く、生産意欲が低下しているため対策を取り、活気ある地域になります。

倉片 誠喜〈根白石区域〉

指針に沿った現場活動をしつかり実行してまいりますので宜しくお願いいたします。

高橋 孝夫〈根白石区域〉

根白石地区最適化推進委員の高橋です。農地利用の最適化推進に努力いたします。

早坂 久〈根白石区域〉

地域住民の意見を得ながら農家の継承発展を目指し、農地利用の最適化に努めます。

任期満了により、次の農業委員が勇退されました

青葉区

宮城野区

太白区

泉区

庄子 襲松さん
遠藤源二郎さん
庄子榮一郎さん
若生 正吉さん

廣谷 一郎さん
峯岸 義信さん
庄子榮一郎さん
若生 正吉さん

高橋 修さん
庄司 妙子さん
加藤 英夫さん
梅田 元雄さん
鈴木 広康さん
橋本 啓一さん
庄子 守松さん
針生 喜初さん

**農業委員会全体会
を開催しました**

8月9日(木)に、新体制後初めての農業委員会全体会及び研修会を開催しました。全体会は、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携を図り、仙台市農業委員会の主たる業務である農地等の利用の最適化を推進するために設置しています。

※組織や社会のルールを守り、高い倫理観を持ち、社会的要請に応えていくこと

その後、農業委員・農地利用最適化推進委員を対象に、(仙)宮城県農業会議事務局次長兼総務部長庄司真知雄氏から「農業委員会の役割、設置意義」について、仙台市総務局総務部コンプライアンス推進担当課長小倉弥氏から「コンプライアンス※について」お話をいたしました。

農業会議事務局次長兼総務部長庄司真知雄氏から「農業委員会の役割、設置意義」について、仙台市総務局総務部コンプライアンス推進担当課長小倉弥氏から「コンプライアンス※について」お話をいたしました。



コンプライアンスの研修会の様子

ご存じですか？農業者年金

意外と知らない方が多い農業者年金制度。平成14年から大きく制度が変わり、付加方式から積立方式になるなど、その特徴の一部をご紹介します。

◎①から③の全ての要件を満たす方が**加入できます**。

①国民年金第1号被保険者の方（国民年金の保険料納付免除者を除く）

②年間60日以上農業に従事している方（農地を持たない農業従事者も加入できます）

③20歳以上60歳未満の方



◎**積立方式**だから自分がかけた金額は年金として**生涯受取れます**。

（仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。）

◎平成29年度の運用実績は、**4.7%**です。

（平成14年度から平成29年度までの16年間の平均運用利回りは、**2.89%**）

◎保険料は、月々2万円から6万7千円まで千円単位で、**いつでも変更できます**。

◎**加入・脱退**は、自由です（脱退した場合は、65歳から年金として支払い）。

◎支払った保険料は**全額社会保険料控除**として、所得税や住民税等の**節税**になります。

◎一定の要件を満たす農業者には、保険料の国庫補助制度があります。

◎**事務経費が掛からない**（積立てた保険料からは、事務費を徴収しません）。

農業者年金で安心・豊かな老後を

国民年金の不足分をご自身で積み増し準備をしましょう。

◎老後の生活費は月24万円／世帯にも（平成28年 総務省家計調査より）

・夫婦で月額約13万円の国民年金だけでは、11万円程度不足します。



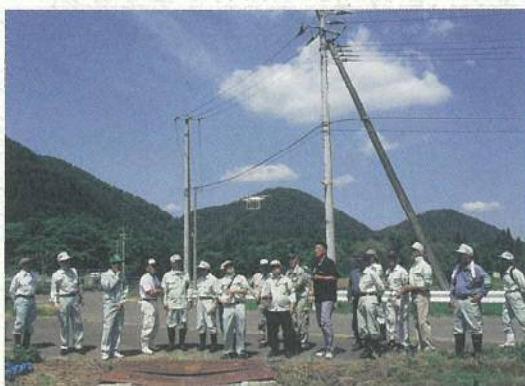
（詳細の問い合わせ先）

事務課振興係 電話 022-214-4353

農地パトロールを実施しました

6月1日(金)から6月14日(木)にかけて、農地法により定められている農地利用状況調査（農地パトロール）を実施しました。

農業委員と業務推進員※、仙台市農業振興課及び農業委員会事務局職員が約550筆の農地の状況を、現地踏査・目視により、遊休農地の把握や違反転用が行われていないかを一筆ごとに念入りに調査しました。非常に気温が高い日もあり、熱中症にならないよう注意しながらのパトロールとなりました。



ドローンによる農地調査

できなかつた農地や再調査が必要な農地については、11月頃に再度調査を行うほか、農地が遊休化しないよう、農地利用最適化推進委員や農業委員が、継続して見回りを行います。

調査結果をもとに、耕作が可能と見込まれる遊休農地については、所有者に利用意向調査し、また復元が困難と判断される農地については、非農地判断等を行うなど、適切な農地利用に向けて対応しています。

※仙台市農業委員会独自で委嘱した農家の意見及び要望の情報収集活動等を補助していただく方。（任期 平成30年7月14日まで）

農地法第3条、第4条、第5条の許可申請書類の締切が変更になりました

農業委員会が新体制に移行したことにより、農地法に関する許可申請（農地法第3条、第4条、第5条）手続きの締切日が平成30年7月から毎月18日になりました。

ご不明な点は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 事務課農地係
電話 214-4340

農地基本台帳確認のお願い

農業委員会では、毎年10月に、仙台市内に居住し10a以上の農地を耕作している農家に世帯状況や農地の状況を把握するため、農地基本台帳確認申告書をお送りします。

なお、住所や農地所在地等に変更がある場合は、隨時変更を受け付けております。

問い合わせ先 事務課振興係
電話 214-4353

新体制になり、次のメンバーで農業委員会だよりを編集してまいります。

会報編集チーム長 大泉 権吾

会報編集副チーム長 佐藤 とみ

農業委員 鈴木 正年

農地利用最適化推進委員 鈴木 通

品川 忠夫

農地利用最適化推進委員 小野寺 潔

農地利用最適化推進委員 阿部 弘昭

農地利用最適化推進委員 太田 勝

農地利用最適化推進委員 倉片 誠喜

農地利用最適化推進委員 高山真里子

わかりやすい紙面づくりを目標に発行してまいりますので、委員一同よろしくお願いします。

問い合わせ先 事務課振興係
電話 214-4353

農業委員会事務局 案内図

